



住み慣れた地域でいきいきと
老人クラブ連合会清掃奉仕活動



▲新緑まぶしい青空の下、すがすがしい笑顔があふれていました

4月22日の早朝、古河福祉の森会館で古河老人クラブ連合会による清掃奉仕活動が行われました。

数十年にわたり毎年行われているこの活動。当日は古河地区の老人クラブ47団体から198人が参加。敷地内の落ち葉やごみを掃いたり、植え込みの雑草や塀に生えた苔を丁寧に取除いたりしました。

古河老人クラブ連合会会長の山田紘嗣さんは「仲間と顔を合わせて共に活動することで、地域の絆や自らの生きがいを見つめられます。一緒にクラブ活動に参加して、いきいきと暮らしましょう」と話してくれました。



マレットゴルフ
全国から集まる仲間と真剣勝負



▲古河市からは選手のほかに審判や運営スタッフとして111人が参加

4月29日、「第24回ALL JAPANマレットゴルフ選手権KOGA大会」がリバーフィールド古河マレットゴルフ場で行われました。「マレット」と呼ばれる木槌のようなスティックとボールがあれば気軽に楽しめるゴルフと同じルールのスポーツです。

当日は、北は宮城県、南は滋賀県からと全国から364人の選手が参加。強風が吹く難しいコンディションの中、風とグラウンドの状況を計算しボールを打つ顔は真剣そのもの。ナイスショットのたびに上がる歓声が五月晴れの青空に響いていました。



「子どもたちの笑顔がいっぱい
古河こどもまつり」

4月29日、「第6回古河こどもまつり」が三和健康ふれあいスポーツセンターで開催されました。子どもたちに、遊びを通して世代を超えた人たちとふれあう楽しさを経験してもらおうと青少年のための古河市民会議が企画し、毎年催しているまつりです。

会場では23団体の協力で大声コンテストや昔遊び、模擬店などが催されたほか、メインステージでは10団体の子どもたちがダンスや和太鼓を披露。また、ご当地ヒーロー「イバライガー」のショーには大勢の親子連れが笑顔いっぱい声援を送っていました。



▲思い思いの言葉で大声を競った「大声コンテスト」



▲日ごろの練習の成果を披露したステージ発表